

ポカラポット 感染対策マニュアル



環境整備

1. 換気

室内 : 出勤後、昼食後、おやつ後、子どもが帰った後(掃除後)

車内 : 車両点検時、学校のお迎え後、帰りの送迎で最後の子どもが降車した後

上記のタイミングに最低5分は窓を開けて換気する。

その他、適宜換気する。(空気がこもっている時、汚物処理をした時など)

2. 掃除

場所

・トイレ : 便器、床、ドアの持ち手、ペーパーホルダー、水洗スイッチ(水洗レバー)

トイレ内の手洗い場の蛇口

※トイレには多くの細菌やウイルスがいるという意識を持つ

※トイレ掃除のポイントは「順番」

汚染リスクの低い箇所から順に掃除することがポイント！

洗面台やドアノブ→便器の周辺(スイッチ類、ペーパーホルダーなど)→

便器フタの外側・内側→便座の外側・内側→便器内部

・玄関のドア

・電気のスイッチ類

・水道の蛇口

掃除方法

通常の掃除に加え、感染症流行時期はアルコール消毒や次亜塩素酸の消毒液を使用する。

3. 調理やおやつ時の準備

使用する机や調理台をアルコール消毒で消毒する。

※子どもが触らないように注意する。

手洗い

- ・スタッフは出勤時、外出から帰った時、調理やおやつ準備前、遊びの後、送迎後にはしっかり手を洗う。
- ・子どもに対しても同様で来所時、食事やおやつ前、排せつ後、遊びの後には手を洗うように誘導する。

水分補給

- ・こまめな水分補給を子ども、スタッフともに意識する。

体調管理

子ども

普段の様子と違うと感じたら、熱はないか？食欲はどうか？活気はどうか？など「なんか変かな？」という視点で観察する。そのことをスタッフ間で共有し、必要であれば保護者に相談する。

スタッフ

咳が出る時はマスクを着用する。

手に傷がある時は食品用の手袋を使用する。スタッフが交代できるようであれば交代する。

下痢の時は食品には触れない。

体調不良時は無理をせず、上司や仲間に相談していく。

情報の共有

- ・インフルエンザやノロウイルスなどがどの学校で流行しているのか、各事業所同士で情報交換する。（早期の対応ができるため）

必要物品の確認

- ・緊急嘔吐物処理セット
- ・手袋、使い捨てエプロン、マスク
- ・汚物処理用のビニール袋
- ・エチケット袋
- ・消毒液（アルコール消毒・次亜塩素酸ナトリウム【ハイター】） ※使用期限の確認

- ・消毒液を作るためのペットボトル(500ml 2本以上)
- ・汚物処理用のペーパー(ペーパータオルや新聞紙など)、捨ててもいい雑巾
- ・ポカリなど(粉状になっていて保管できるもの)

発熱時の対応

- ・37.5℃以上で、倦怠感、咳、鼻汁などの症状がある時は保護者に連絡。基本お迎えに来てもらう(普段の平熱を聞いておく。熱がこもりやすいなど、その子どもの特徴を知っておく。熱が出やすい子どもについては、あらかじめ保護者と連絡の取り決めをしておく)
- ・咳があればマスクの着用を促す
- ・他児とは空間を別にするように、休息スペースを作る。他児が出入りしないようにする
- ・水分補給(お茶が苦手な子用にポカリなどを準備しておく)に留意する
- ・寒気がある時は毛布などで保温する。寒気がなければ氷枕などで冷やす。冷えピタの使用は皮膚の弱い子どもには避けた方がよい

咳の対応

- ・マスクの着用が基本。嫌がる子どもにもマナーとしてできるように話をしていく
- ・子どもがマスクを持参していない場合は、施設の備品を提供する
- ・こまめに水分補給を促す
- ・せき込みが激しい時は活動も難しいと思われるので、保護者と相談する

嘔吐時の対応

- ・吐き気がある時は他児から離れた場所に誘導し、エチケット袋を持たせる。スタッフはそばに付いて様子を観察する
- ・嘔吐した時
 - 嘔吐した子ども : 吐物から離し、ケアする(吐き気の有無、口腔ケアや衣類交換などの保清)。どういう状況で嘔吐したのか?吐物の内容、嘔吐後の様子を見て、保護者へ連絡する
 - 周囲の子ども : 吐物に近寄らせないようにする(入ってはいけない区域をテープなどを使用して視覚的にわかるようにする)
 - 吐物の処理 : 緊急嘔吐物処理セットを使用し、すみやかに片づける。緊急嘔吐物処理セットがなければ新聞紙などのペーパー類や雑巾で拭きとる。この時、スタッフは使い捨てエプロン、マスク、手袋を着用する

※**処理時の注意**：吐物で汚染している場所の中央に向かってふき取り、汚物をビニール袋に入れる →汚染した場所よりも広範囲にペーパーを敷き、次亜塩素酸ナトリウムの消毒液（ハイターをハイターのキャップで2杯10mlを500mlペットボトルに入れ、水をペットボトルいっぱいに入れる）をまく →10～15分間放置。その後拭き取る →水拭きでしっかり拭き取る →拭き取ったペーパーはビニール袋に捨てる。

消毒液はその日で捨てる。保管はしない。必要時に作る。

その他：汚物で汚れた衣類には直接触れないようにして、ビニール袋に入れ、家で洗濯を依頼する。
食事中に嘔吐してしまい、使っていた食器が吐物で汚れた時は他児との食器とは別にし、次亜塩素酸ナトリウム（ハイター）で個別に消毒する。
食べ過ぎで嘔吐しやすい子に対しては、すぐに対応できるようにエチケット袋を準備しておくなどの、事前の対応を取っておく。

下痢の時の対応

- スタッフは使い捨てエプロン、マスク、手袋を着用し、トイレの掃除を行なう
- 下痢をしている子どもの手洗いを十分に行う
- 水分補給を促す
- 腹痛の有無、活気の有無、排便の様子を見て、必要時保護者に連絡する